

牛久シャトー クラウドファンディング 日本のワイン城「牛久シャトー」復活プロジェクト

リターン：ご自分が描いた絵画または撮影された写真を飾るスペースを確保できる権利（1年間）



レストラン



ショップ

- ◆ 期間 令和4年3月15日（火）～令和5年3月14日（月）までの1年間
- ◆ 時間
 - ・ショップ 10:00～18:00
 - ・レストラン 11:30～15:00、17:30～21:30（レストランご利用の方、限定となります。）
- ◆ 定休 月曜日、その他臨時休館日あり。 ※レストランは、貸切営業等の場合があります。ご了承願います。
- ◆ 区分 S ショップにて掲出 R レストランにて掲出 ※掲出施設内で展示場所の変更が生じる場合があります。



R 友永 正昭 さん
作品名 シャトーの桜

神谷傳兵衛翁が建設した牛久シャトーが日本遺産に認定されました。四季の庭園スポットとして、市民の集いの場となっています。春がきて、桜に映える洋館 牛久シャトーは、市内屈指の桜の絶景スポットと考えています。



R 神谷 邦子 さん
作品名 絵皿 シャトーカミヤのクリスマスプレート

大倉陶園ペインティングスクール受講中の1991年に、上絵付け絵具で手書きし、電気炉にて800℃の高温で焼成した大倉陶園の磁器クリスマスプレートです。



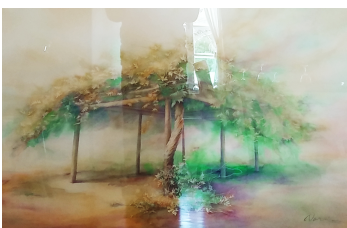
R 丹澤 和子 さん
作品名 バッカスの歌

カリグラフィーで書いた文字の部分は酒の神様である「バッカス」の歌で、古いラテン語です。邦題は「バッカスよ、ようこそ」です。画材のインクはコウイカから採取した墨で作られた日本製のセピアインクで、その他日本画顔料、ラピスラズリ顔料、純金箔等を使用しています。



R 田邊 美津子 さん
作品名 緑風詩

初夏のある日、牛久シャトーの庭園で母子が語り合いながら過ごしている様子を見ました。その清々しさ、爽やかに魅せられ、イメージを膨らませ、構図を考えて描き上げました。牛久シャトーは、貴重な皆の憩いの場として幾久しく愛されるようお願い、出品させていただきました。



R 水野 のり さん
作品名 A revelation ～啓示～

牛久沼の畔が、私の幼少期の遊び場でした。清々しい風と穏やかな景色のなかで、豊かな土に触れ、小さな生き物や草花、美しい夕陽を眺めて育ちました。美を感じるとき、そこには目に見えない偉大な自然の働きや、それを支えている時間の流れがあることを垣間見るような気がします。



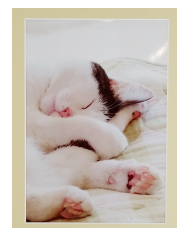
S 傳兵衛クラブ刈谷 の皆さん
作品名 三河刈谷「カキツバタ」

牛久シャトーの創始者 神谷傳兵衛さんの故郷「三河」。傳兵衛さんが会社設立や社長として経営に尽力した三河鉄道の発祥の地「刈谷市」の市花「カキツバタ」を描きました。国指定天然記念物の「小堤西池カキツバタ群落」は、毎年5月に開花します。



S O hiromi（まる ひろみ）さん
作品名 月と咲くーaー

この作品は椿の花が月の光で開花する姿を表しています。基本的に花は太陽の陽が照る時に開花しますが、あえて月の世界という真逆の世界で咲く花を描くことで、認識しているものの「あやふやさ」、裏世界的な表現をしています。支持体は流木、ワイヤー、樹脂粘土など、人工物と自然物におけるミックスで制作しています。



S しみずちか さん
作品名 たっぴり遊んでしっかり休もう

牛久に住んでいる元保護猫の春ちゃん。交通事故で保護され、瀕死のところを動物病院で救われました。両後ろ脚が動かなくなりましたが、毎日走り回り、元気いっぱい遊んでいます。遊び疲れたら、ぐっすりお昼寝。猫から自然な生き方を学んでいます。